

九州新幹線全線開業 2 年目の宿泊客増加に伴う経済効果は 44 億円

～九州北部豪雨の影響大きく、開業 1 年目より減少～

○ 九州新幹線全線開業後 2 年目の熊本県内への宿泊客増加に伴う経済波及効果は約 44 億円

- 九州新幹線鹿児島ルート全線開業後 2 年目の熊本県内への宿泊客増加に伴う経済波及効果を推計した結果は、44 億 21 百万円となった（図表 1）。
- 経済波及効果の算出にあたっては、「経済効果分析ツール」（熊本県統計調査課）を使用した。

図表 1 九州新幹線全線開業後 2 年目の 1 年間の経済効果

生産誘発額(単位:百万円)	
第1次波及効果	3,579
第2次波及効果	842
合計	4,421

※1 第1次波及効果のうち、直接効果(=宿泊客の熊本県内での観光消費額の増加額)は28億17百万円

○ 推計方法について

・ 宿泊客増加人数

「全線開業前 1 年間」と「全線開業後 2 年目の 1 年間」の宿泊客数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数を用いた。なお、「全線開業後 2 年目の 1 年間」の平成 25 年 1 月～2 月は同延べ宿泊者数に熊本県が実施した「宿泊客数動向調査(平成 24 年 1 月～12 月)」の前年同期比の減少率▲2.81%を乗じて算出した(図表 2)。

図表 2 九州新幹線全線開業後 2 年目の 1 年間の熊本県内への宿泊客増加人数

(単位:人)

	A 全線開業後2年目の 1年間 (平成24年3月～平成25年2月)	B 全線開業前1年間 (平成22年3月～平成23年2月)	宿泊客増加人数 (A - B)
宿泊客数	6,805,825	6,653,890	151,935

※2 A、Bともに宿泊客数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(外国人除く)

・ 宿泊客 1 人あたりの観光消費額

観光庁「全国観光入込客統計」の熊本県への入込客の観光消費額および平成 23 年熊本県観光統計表の観光消費額に基づき、18,543 円と算出した。

・ 熊本県内での観光消費額の増加額

上記の宿泊客増加人数、宿泊客 1 人あたりの観光消費額に基づき算出した熊本県内での観光消費額の増加額は、約 28 億円となった。

・ 経済波及効果

上記で算出した約 28 億円を、熊本県観光統計表の「1 人あたりの観光消費額」の構成費目ごとに振り分け(図表 3)、経済波及効果分析ツール用いて経済波及効果を算出した。

図表 3 宿泊客の観光消費額

(単位:百万円)

費目	宿泊費	飲食費	域内交通費	商品購入費	その他
観光消費額	1,643	394	276	282	223

以上